

# 第 1 回 定 時 総 会 議 案 書

平成 2 5 年 5 月 1 7 日

一般社団法人静岡県設備設計協会

# 第 1 回 定 時 総 会 次 第

日 時：平成 2 5 年 5 月 1 7 日（金）

1 5 時 3 0 分～

場 所：クーポール会館

1 開 会

2 会長挨拶

3 定足数報告

4 議長確認

5 議事録署名人選出

6 議 事

〈決議事項〉

第 1 号議案 平成 2 4 年度収支決算の承認に関する件

第 2 号議案 役員を選任に関する件

〈報告事項〉

( 1 ) 平成 2 4 年度事業報告について

( 2 ) 新会員の入会について

( 3 ) 平成 2 5 年度理事会の開催予定について

( 4 ) 事務局の体制について

7 閉 会

平成24年度収支決算の承認に関する件

1 収支計算書

(1) 平成24年度収支計算書(案)

(2) 収支計算書に対する注記

2 財務諸表

(1) 貸借対照表(案) \*

(2) 損益計算書(正味財産増減計算書)(案) \*

(3) 財務諸表に対する注記 \*

3 財産目録(案)

4 残高証明書(写)

5 監査報告書

\* : 定時総会への報告、承認が必要なもの。  
(定款第37条第2項)

**平成24年度収支計算書(案)**

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 入会金収入	0	120,000	△ 120,000	
(2) 会費収入	6,070,000	6,110,000	△ 40,000	
① 正会員会費収入	1,550,000	1,600,000	△ 50,000	50,000円×32事務所
② 賛助会員会費収入	4,520,000	4,510,000	10,000	40,000円×112社+30,000円
(3) 事業収入	2,865,000	2,333,714	531,286	
① 普及啓発事業収入	800,000	730,000	70,000	
・広報誌発行事業収入	800,000	730,000	70,000	広告料
② 調査研究事業収入	200,000	230,000	△ 30,000	
・設計施工技術共同研修事業収入	200,000	230,000	△ 30,000	視察研修負担金
③ 地域社会貢献事業収入	700,000	117,714	582,286	
・分煙技術支援事業収入	700,000	117,714	582,286	業務委託費
④ その他事業収入	1,165,000	1,256,000	△ 91,000	
・情報交換事業収入	1,165,000	1,256,000	△ 91,000	賀詞交換会・会員研修会負担金
(4) 負担金収入	840,000	828,000	12,000	
① 負担金収入	840,000	828,000	12,000	総会懇親会負担金
(5) 雑収入	90,600	73,070	17,530	
① 受取利息収入	600	385	215	
② 雑収入	90,000	72,685	17,315	祝儀等
事業活動収入計	9,865,600	9,464,784	400,816	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
① 普及啓発事業支出	1,260,740	1,288,582	△ 27,842	
・広報誌発行事業支出	1,027,500	1,052,332	△ 24,832	
・ホームページ運営事業費支出	170,000	176,400	△ 6,400	
・分離発注促進事業支出	63,240	59,850	3,390	
② 調査研究事業支出	613,500	415,665	197,835	
・設計技術向上事業支出	240,000	82,810	157,190	
・設計施工技術共同研修事業費支出	373,500	332,855	40,645	
③ 人材育成事業支出	0	0	0	
・人材育成事業支出	0	0	0	
④ 地域社会貢献事業支出	110,500	53,500	57,000	
・建築設備無料相談事業支出	0	3,500	△ 3,500	
・住まい博開催事業支出	40,500	30,000	10,500	
・分煙技術支援事業支出	70,000	20,000	50,000	
⑤ その他事業支出	1,385,520	1,568,300	△ 182,780	
・ボランティア活動事業支出	0	0	0	
・情報交換事業支出	1,385,520	1,495,800	△ 110,280	
・特別委員会事業支出	0	72,500	△ 72,500	
⑥ 事業共通経費支出	0	0	0	
・会議費支出	0	0	0	
・給料手当支出	0	0	0	
・通勤手当支出	0	0	0	
・福利厚生費支出	0	0	0	
・旅費交通費支出	0	0	0	
・消耗品支出	0	0	0	
・光熱水料支出	0	0	0	
・通信運搬費支出	0	0	0	
・賃借料支出	0	0	0	
・負担金支出	0	0	0	
事業費支出計	3,370,260	3,326,047	44,213	

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
(2) 管理費支出				
① 給料手当支出	2,184,000	1,686,000	498,000	
② 福利厚生費支出	321,792	101,024	220,768	
③ 会議費支出	984,000	1,094,400	△ 110,400	総会、理事会
④ 旅費交通費支出	354,000	390,900	△ 36,900	旅費、通勤手当
⑤ 通信運搬費支出	169,425	103,613	65,812	電話、郵送料、メール便代
⑥ 消耗品支出	70,000	102,360	△ 32,360	
⑦ 印刷製本費支出	50,000	135,445	△ 85,445	
⑧ 新聞購読料支出	60,000	90,000	△ 30,000	建通新聞
⑨ 光熱水料費支出	48,000	63,607	△ 15,607	電気、水道
⑩ 賃借料支出	1,071,624	1,298,621	△ 226,997	家賃、コピー機、パソコン
⑪ 租税公課支出	340,000	264,600	75,400	法人税、県税、市税
⑫ 負担金支出	44,125	53,600	△ 9,475	
⑬ 委託費支出	150,000	190,000	△40,000	
⑭ 慶弔費支出	120,000	176,250	△ 56,250	
⑮ 雑支出	50,000	33,670	16,330	
管理費支出計	6,016,966	5,784,090	232,876	
事業活動支出計	9,387,226	9,110,137	277,089	
事業活動収支差額	478,374	354,647	123,727	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	478,374	354,647	123,727	
前期繰越収支差額	-478,374	-888,397	410,023	
次期繰越収支差額	0	-533,750	533,750	

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	1,833,448	1,483,614
前払金	73,500	73,500
未収入金	0	98,095
合 計	1,906,948	1,655,209
未払金	0	40,000
前受金	2,740,000	2,140,000
預り金	55,345	8,959
合 計	2,795,345	2,188,959
次期繰越収支差額	△888,397	△533,750

# 貸借対照表(案)

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
(1) 現金預金			
現金	115,620	232,677	△ 117,057
普通預金	1,367,994	1,600,771	△ 232,777
現金預金合計	1,483,614	1,833,448	△ 349,834
(2) その他流動資産			
未収入金	98,095	0	98,095
前払金	73,500	73,500	0
その他流動資産合計	171,595	73,500	98,095
流動資産合計	1,655,209	1,906,948	△ 251,739
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	
(3) その他固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
敷金	147,000	147,000	0
什器備品 エアコン一式	158,315	194,258	△ 35,943
その他固定資産合計	377,315	413,258	△ 35,943
固定資産合計	377,315	413,258	△ 35,943
資産合計	2,032,524	2,320,206	△ 287,682
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	40,000	0	40,000
前受金	2,140,000	2,740,000	△ 600,000
預り金	8,959	55,345	△ 46,386
流動負債合計	2,188,959	2,795,345	△ 606,386
<b>2. 固定負債</b>			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,188,959	2,795,345	△ 606,386
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>	△ 156,435	△ 475,139	318,704
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	△ 156,435	△ 475,139	318,704
負債及び正味財産合計	2,032,524	2,320,206	△ 287,682

損益計算書(正味財産増減計算書)(案)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
入会金	120,000	30,000	90,000
② 受取会費			
会員会費	6,110,000	6,180,000	△ 70,000
③ 事業収益			
広告料	730,000	990,000	△ 260,000
研修会費	2,431,714	2,085,714	346,000
事業収益計	3,161,714	3,075,714	86,000
④ 雑収入等			
雑収入	53,070	43,424	9,646
寄付金	20,000	0	20,000
雑収入等計	73,070	43,424	29,646
経常収益計	9,464,784	9,329,138	135,646
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会事業費	1,941,747	3,260,422	△ 1,318,675
地区会費	0	40,619	△ 40,619
会議費等	1,354,300	3,351,690	△ 1,997,390
負担金・諸会費	30,000	196,740	△ 166,740
事業費計	3,326,047	6,849,471	△ 3,523,424
② 管理費			
会議費等	5,343,240	2,822,435	2,520,805
慶弔費等	176,250	112,346	63,904
什器備品減価償却費	35,943	44,592	△ 8,649
管理費計	5,555,433	2,979,373	2,576,060
③ 公課費			
公課費	264,600	233,600	31,000
経常費用計	9,146,080	10,062,444	△ 916,364
当期経常増減額	318,704	△ 733,306	1,052,010
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	0	212,625	212,625
経常外費用計	0	212,625	212,625
当期経常外増減額	0	212,625	212,625
当期一般正味財産増減額	318,704	△ 945,931	1,264,635
一般正味財産期首残高	△ 475,139	470,792	△ 945,931
一般正味財産期末残高	△ 156,435	△ 475,139	318,704
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 156,435	△ 475,139	318,704

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

定額法

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
エアコン	215,225	56,910	158,315

### 3 基本財産、特定資産及び引当金の明細

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する記載事項はない。

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	115,620
	預金	普通預金 静岡信用金庫八幡支店	運転資金として	1,367,994
	前払金	(株)スミカ	25年4月家賃	73,500
	未収入金	分煙支援アドバイザー 派遣事業業務委託費	3月実施5件分	98,095
流動資産合計				1,655,209
(固定資産) その他固定資産	電話加入権	事務所	事務所用として	72,000
	敷金	事務所	事務所用として	147,000
	什器備品	エアコン	事務所用として	158,315
固定資産合計				377,315
資産合計				2,032,524
(流動負債)	前受金	平成25年度年会費	平成25年度年会費の 前受け	2,140,000
	未払金	帳簿作成業務	緒方行政書士	40,000
	預り金	源泉所得税	事務局職員 (25年1～3月)	4,899
		雇用保険料本人負担分	事務局職員 (24年7～25年3月)	4,060
流動負債合計				2,188,959
負債合計				2,188,959
正味財産				-156,435

# 残高証明書



(株)静岡県設備設計協会  
 会長 三ツ井 幹雄 様

平成 25年 4月 4日  
 店番-お客様番号  
 (006-3499971)  
 1枚目 / 1枚

平成 25年 3月 31日 現在における貴殿(貴社)ご名義の  
 下記勘定残高につき相違ないことを証明いたします。

合計金額		¥1,367,994* 円	
科目	金額	備考	
普通預金 0127794	1,367,994	(他券)	0)
全ての取引の残高を証明するものです。		以下余白	

(この証明書の金額は訂正いたしません)

静岡信用金庫

八幡  
支店長

小林秀明



# 監 査 報 告 書

平成24年度社団法人静岡県設備設計協会の監査を協会事務所において実施したところ、現金出納簿などの関係書類が正確に整理され、事実と相違ないことを認め、これを報告します。

平成25年4月19日

監 事 久々良公夫 

監 事 植田賢司 

一般社団法人静岡県設備設計協会

会長 三ツ井 幹雄 様

## 役員を選任に関する件

現役員（理事及び監事）の任期は第1回定時総会の終結の時までとなるため、新たに役員を選任する。

## 選任する役員候補一覧

（任期：第1回定時総会から第3回定時総会の間）

区分	氏名	所属	賛	否
理事	三ツ井 幹雄	(有) アドイン代表取締役		
理事	美和 静男	美和設備設計室代表		
理事	白井 和彦	(株) プログレス設計代表		
理事	山森 繁	山森建築設備設計事務所所長		
理事	佐野 富士雄	MEサポート代表		
理事	名波 睦生	ナナミ電気設計代表		
理事	神谷 保孝	(有) セイブ設備計画代表取締役		
理事	齊藤 隆幸	(株) エスエスシー代表取締役社長		
監事	多々良 公夫	(有) 三良建築設備設計事務所代表取締役		
監事	植田 賢司	(合) ウエダ建築設備事務所代表		

注) 会長（代表理事）、副会長及び専務理事は、第1回定時総会終了後の理事会において選定する。

平成24年度事業報告書

平成24年度事業計画書に基づき、以下のとおり事業を実施した。

1 普及啓発事業

建築設備等の知識に関する普及啓発及び情報の提供を行った。

(1) 広報誌発行事業

広報誌「風とあかり」第34号を9月に発行し、関係機関・団体等約1,100か所、1,600部を配付した。

内容は、賛助会員の技術レポート、委員会や地区会の活動報告、会員のフリートークなどで、従来と同様の構成とした。なお、経費節減のため、頁数を削るなどの工夫を行った。

(広報委員会)

(2) ホームページ運営事業

ホームページを充実させるため前年度末に全面的なリニューアルを行い、広く県民に協会に関する情報や建築設備に関する技術情報の提供などを行った。

特に、リニューアル後は、情報のアップを事務局職員が自ら行うシステムとしたため、タイムリーな情報提供が可能となった。

(広報委員会)

(3) 分離発注促進事業

冊子「設備設計・監理受注実績」を4月に発行し、静岡県、静岡県住宅供給公社、静岡県教育委員会、関係市などの関係先へ配付を行い、設備設計の分離発注により建築設備の長寿命、省エネルギー化などを的確に進めることへの理解の促進を図った。

(総務・事業委員会)

2 調査研究事業

社会的要請に応えるための建築設備等の技術に関する調査研究を行った。

(1) 建築設備設計技術向上事業

省エネルギーを考慮した施設や新エネルギーの利用を促進した施設の現地研修会、また、二酸化炭素削減対策や省エネルギーの向上などについての技術環境講習会などを通じてより良い建築設備設計技術の向上を目指した。

① 浜岡原子力発電所視察研修会

想定される大規模地震・津波への対策を進めている中部電力(株)浜岡原子力発電所の視察を行い、浜岡原子力発電所や地震津波対策についての概要説明を受けた後、防波壁と浸水対策工事現場、3号機建屋内の視察を行った。

○日時：平成24年4月13日(金)13時30分～17時

○参加者：16名

(技術・環境委員会)

② 技術・環境講習会

例年開催している技術・環境講習会については、当協会が静岡県から委託を受け進めている分煙アドバイザーの実務に役立つ国の基準、他自治体の取組み、設計の考え方などについて講習を行った。また、変圧器に関する講習を行った。

正会員、賛助会員以外に静岡県、静岡市、富士市等の官庁関係、施工業者などの多方面からの御参加をいただき、質疑応答を含む有意義な講習が行われた。

- 日時：平成 24 年 10 月 12 日（金）14 時～16 時 30 分
- 場所：静岡市産学交流センタープレゼンテーションルーム
- 受講者：54 名

#### <第一部>

演題：小規模飲食店等における分煙対策

講師：株式会社トルネックス マーケティング室グループリーダー 島田秀治 様

概要：健康増進法による喫煙対策を具体的に進めるため、平成 15 年 5 月に厚生労働省通達「職場における喫煙対策のためのガイドライン」が出されている。この考え方に基づいて、神奈川県及び兵庫県では受動喫煙防止条例が施行され積極的な喫煙対策が行われている。また、2011 年 10 月からは、厚生労働省が受動喫煙防止対策助成金制度を定め、分煙設備などに対する助成金の支給が始まっている。

喫煙禁止区域から喫煙区域へ毎秒 0.2 m 以上の空気の流れが必要となり、かなり大きな換気設備が求められるが、開口部にエアカーテンを設けることにより毎秒 0.1 m の排気で済むようになる。実際の施工事例が紹介された。

#### <第二部>

演題：配電用変圧器の高効率化

講師：株式会社日立産機システム 統括事業本部受配電・環境システム事業部企画部  
主任技師 天兒（あまこ）洋一 様

概要：産業機器では唯一、特定機器に指定されている変圧器の新判断基準制定から 7 年が経過した現在の状況や耐震の手法についての講演が行われた。

（技術・環境委員会）

## (2) 設計施工技術共同研修事業

設備工事施工団体との共同事業により建築設備の設計及び施工技術に関する共同研修を行い、お互いの技術の研鑽を図るため、今年度は視察研修を行った。

- 日 時：平成 25 年 3 月 8 日（金）
- 場 所：大和ハウス工業総合技術研究所（奈良市左京 6 丁目 6 番 2 号）
- 参加者：9 名（（社）静岡県設備協会 23 名）
- 研究所の概要：

本館（テクノギャラリー：体験型展示）、Dミュージアム（世界の住まいや大和ハウス工業の歴史展示）、石橋信夫記念館（創業者の記念館）、テクノラボA（材料、環境、構造などの実験）、テクノラボB（防火、窯業、地盤などの実験）、セミナーハウス（研究者の宿泊、交流施設）及びD-room プラザ館（D-room のプレゼンテーションスペース）の七つの建物で構成され、主に、本館（テクノギャラリー）とDミュージアムを中心に体感、体験、実感を通じた見学を行うことができる。

#### ○研修概要：

今回の研修では、七つの建物のうち主に本館、Dミュージアム、テクノラボA及びテクノラボBを中心に視察を行った。

本館の体験型展示では、今最も注目されている地震対策を中心に、地震エネルギーを吸収する制震住宅の制震パネルの見学、軟弱地盤に於ける独自の鋼管杭工法の見学、外張り断熱と従来の内貼り断熱の違いの体験を行い。さらに、免震システムにおいては大和ハウス独自に開発した装置で、阪神大震災程度の揺れを再現し実体験を行った。

また、防音室については、快適防音効果を可能にした新技術「コーナーチューン」の音響効果についても体験をした。

更に、建物診断員の作業軽減に役立つ、住宅床下点検ロボットの開発もしているとのことであった。

今回の視察研修では、大和ハウスの耐震対策などの開発研究の現場を実際に見聞き体験することにより、東海地震などの大地震への地震対策や、住まいの居住快適性の追求など、設備設計に携わる者として大いに参考となるものがあつた。

(技術・環境委員会)

### (3) 設計図書の見直しに伴う設計業務に係る説明会

静岡県においては、平成24年から設計業務内容の変更や特記仕様書の改定を行ったことから、静岡県担当課職員を招へいし説明を受けた。

○日時：平成24年4月17日(火)13時30分～15時

○場所：静岡市産学交流センター演習室4

○講師：静岡県経営管理部財務局設備課職員

○参加者：25名

(技術・環境委員会)

## 3 地域社会貢献事業

建築設備相談会の開催などの地域社会に貢献する事業を行った。

### (1) 建築設備無料相談事業

建築設備についての新築計画、リニューアル又は現設備に係るトラブルなどに対するアドバイスのための無料相談コーナーをホームページ上に開設した。また、必要に応じ現場での出張相談も行うこととした。

ホームページ上で2件、静岡市役所清水区役所で6回、それぞれ相談を行った。

(三役及び中部地区会)

### (2) 分煙技術支援事業

静岡県から委託を受け、公共的施設における分煙対策について設備面からのアドバイスを行い、社会的要請である分煙化の促進に寄与した。

6件のアドバイスを行った。

(総務・事業委員会)

## 4 その他事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行った。

### (1) 他団体等との情報交換事業

建築設備設計に関わる情報交換を行い法人の事業活動の推進に資することとした。

#### ① 県担当課との意見交換会

静岡県経営管理部財務局設備課と当協会との意見交換会を開催し、設備設計に関わる技術的事項などについて設備課担当から説明を受け、質疑応答を行い、さらに協会からの意見を述べた。

○日時：平成24年9月7日(金)15時～17時

○場所：静岡市産学交流センター6階演習室4

○出席者：静岡県(5名)、協会(8名)

○内容：設計書の取扱い変更に伴う設計図書の作成について

積算金額の算出について  
協力事務所の資格要件の設定について  
総合評価方式について 他

(技術・環境委員会)

② 会員研修会

正会員と賛助会員が一同に会し、講演を拝聴するとともに、情報交換を行った。

○日時：平成24年11月16日(金)16時30分～

○場所：グランディエールブクトーカイ

○講演会

・演題：茶と放射能 ～静岡茶の信頼を回復し!!!安心して飲んでいただくために～

・講師：静岡県農林技術研究所茶業研究センター

生産環境科長 松本 昌直 先生

○情報交換会

○参加者：63名

(総務・事業委員会)

③ 建築5団体賀詞交歓会

建築(設備)の設計に関わる関係五団体の共催による建築五団体賀詞交歓会を開催した。  
本年度は当協会が幹事団体であった。

建築五団体：一般社団法人日本建築学会東海支部静岡支所

一般社団法人静岡県建築士事務所協会

公益社団法人静岡県建築士会

社団法人日本建築家協会東海支部静岡地域会(当時)

社団法人静岡県設備設計協会(当時)

○日時：平成25年1月25日(金)18時～20時

○場所：ホテルアソシア静岡 3階「駿府」

○出席者：約315名(当協会：98名)

(総務・事業委員会)

④ 中部地方整備局との意見交換会

国土交通省中部地方整備局営繕部と東海4県設備設計協会(事務所協会)との意見交換会を開催し、中部地方整備局からの情報提供、意見交換などを行った。

○日時：平成25年2月7日(木)15時30分～17時

○会場：名古屋第2地方合同庁舎7階大会議室

○参加協会：(社)愛知県設備設計監理協会、岐阜県設備設計事務所協会

(社)静岡県設備設計協会、三重県設備設計事務所協会(当日欠席)

○出席者：中部地方整備局7名、各県協会役員9名

○内容：国土交通省中部地方整備局営繕部からの情報提供

各県協会における業界の最近の状況等について

意見交換

(事務局)

(2) 特記仕様書作成事業

一般社団法人静岡県建築士事務所協会に協力し、特別委員会を設けて「環境にやさしい建築工事特記仕様書（電気設備・機械設備版）」の作成作業を行った。

平成 25 年度中の完成を目指している。

(特別委員会)

5 法人管理事業

三役会、理事会、総会などの会議の開催、事務局事務などを通じて法人の全般的な管理運営を行った。

(1) 三役会

8回開催した。

- ・平成 24 年 4 月 20 日、5 月 18 日、7 月 6 日、8 月 24 日、9 月 7 日、11 月 16 日
- ・平成 25 年 2 月 22 日、3 月 16 日

(2) 理事会

5回開催した。

- ・平成 24 年 4 月 20 日、5 月 18 日、7 月 6 日、11 月 16 日
- ・平成 25 年 2 月 22 日

(3) 総会

通常総会を 2 回開催した。

- ・第 23 回平成 24 年度通常総会 平成 24 年 5 月 18 日
- ・第 24 回平成 24 年度通常総会 平成 25 年 3 月 15 日

(4) 三役・委員長会議

次年度の事業計画などについて検討を行った。

- ・平成 25 年 2 月 1 日

<付属明細書について>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が無いので作成をしない。

## 新会員の入会について

会員の入会希望があったため、定款第6条の規定に基づき理事会で審議の上、入会を承認した。

### 記

#### 1 正会員（団体会員）

##### (1) 社名

株式会社フレームアーツ

##### (2) 代表者名

取締役社長 須山 一彦

(担当者：大塚 優)

#### 2 入会の経緯

##### (1) 入会申込書の提出日（会員規程様式第1号）

平成25年4月1日

##### (2) 理事会での審議、承認日

平成25年4月26日（金）

##### (3) 入会審査通知書の通知日（会員規程様式第2号）

平成25年4月26日（金）

##### (4) 入会金及び年会費入金日

平成25年4月30日（火）

※入金日をもって入会日となる。

## 平成25年度理事会開催予定

年月日(曜)	議 題	備考
平成25年4月26日(金)	○決議事項 ・平成24年度事業報告について ・平成24年度収支決算について ・役員を選任について ・会員の入会審査について ・第1回定時総会などについて ○報告事項 ・平成25年度理事会の開催予定について ・その他	
5月17日(金)	・会長(代表理事)、副会長及び専務理事の選定	
7月中旬	・業務執行理事の業務執行状況報告 ・その他諸議題	
11月中旬	・諸議題	
2月中旬	・業務執行理事の業務執行状況報告 ・平成26年度事業計画等の検討 ・その他諸議題	

注1) 理事会出席者：理事及び監事

委員長3名(理事兼務)

地区幹事長3名(1名理事兼務)

2) 業務執行理事会(三役会)を臨機に開催し、事業執行の協議決定をする。

## 事務局の体制について

平成25年4月1日以降の事務局の体制は下記のとおりである。

## 記

- 1 月曜日～木曜日  
事務員が9時から15時まで勤務する。
- 2 木曜日～金曜日  
事務長が9時から16時まで勤務する。